

お知らせ

INFORMATION

No.2023-01
2023年1月
病体生理研究所

新規受託開始および受託中止のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、新たに下記検査項目の受託を開始させて頂くことになりましたのでご案内いたします。併せて、現検査項目は試薬販売中止のため受付中止とさせていただきます。何卒、ご了解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

【新規受託項目】

- ◆ 甲状腺刺激抗体 (TSAb) [16455] …検査実施施設 S
 - ※ 報告名称：TSAb(B)
 - ※ 項目情報裏面参照

《受託開始日》：2023年1月10日（火）受付分より

【検査中止項目】

- ◆ TSH刺激性レセプター抗体 (TSAb) [12607] …検査案内P.37 検査実施施設 S

《最終受付日》：2023年3月30日（木）受付分まで

★ 相関試験をご希望の際は、営業担当にご相談ください。

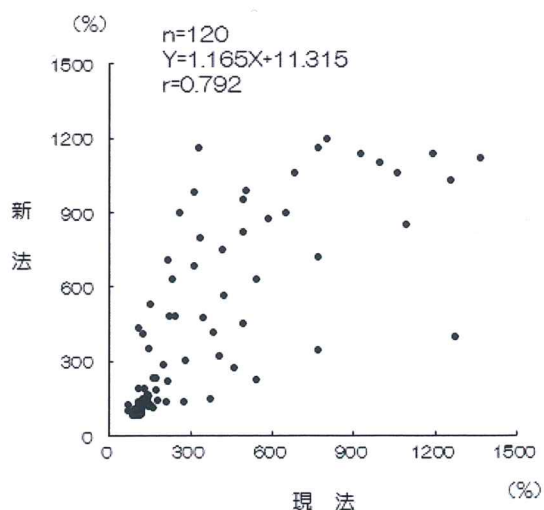
※ 2023年3月30日まで、**新規項目**をご依頼の場合は、**必ず TSAb (B)** と表記してください。

※ TSAb のみの表記の場合は、従来項目で受けさせていただきます。

【新規項目情報】

	新	現
項目名称	甲状腺刺激抗体 (TSAb)	TSH 刺激性レセプター抗体 (TSAb)
コード	16455	12607
検体材料	血清 0.3mL	血清 0.8mL
報告名称	TSAb(Bioassay) 略称：TSAb(B)	TSAB
保存	冷蔵 (21 日)	冷蔵 (21 日)
検査方法	Bio assay	Bio assay EIA
基準値単位	110 未満 %	120 以下 %
報告範囲	92 未満、92~99900000 %	0~99999999 %
所要日数	3~6 日	4~6 日
実施料 (区分)	340 点 (D014 38)	
実施区分	144 点 (免疫)	
備考	溶血でのご依頼は避けて下さい。 (溶血検体では、測定値が低値となる可能性があります。)	

【現法と新法の相関】



		現法	
		(-)	(+)
新法	(-)	50	0
	(+)	8	62

一致率：93.3% (n=120)

甲状腺機能亢進症を示すバセドウ病の診断、破壊性甲状腺機能亢進症（無痛性甲状腺炎、亜急性甲状腺炎）との鑑別診断に有用です。

甲状腺機能亢進症におけるバセドウ病は TSH 受容体抗体 (TRAb) によって発症します。

TSH 受容体抗体には刺激型と阻害型の 2 種類があり、このうち刺激型は TSH 受容体に対してアゴニストとして作用し、甲状腺細胞膜中の adenylate cyclase 活性を刺激し、甲状腺内のサイクリック AMP (cAMP) 産生を増加させるバセドウ病の原因物質と考えられます。

- 文献： 1. 測定法：田上 哲也，他：糖尿病・内分泌代謝科 53 (5)：479~486, 2021.
2. 臨床意義：上條 桂一，他：医学と薬学 79 (9)：1199~1207, 2022.

以上